

平成30年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立 紀之川中学校

作成日

平成 31年 2 月 14 日

1 教育目標

学校教育目標 あなたがいてよかったと言われる人になろう

めざす生徒像

自ら求める生徒(主体性を育む) 自ら省みる生徒(連帯性を育む) 自ら創る生徒(創造性を育む)

の育成をめざす

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	○授業がよくわかる 80% ○授業改善 (目標・振り返り) 95%	○学校が楽しい 95% ○いじめを許さない95%	○朝食を毎日食べる 95%	○連携回数 3回以上
意見重点目標に対する	・目標は適切である ・学校として学力の課題を明確にすることは適切 ・学習の継続性等を考えると、小学校との連携を今まで以上に取っていく必要がある。	・目標は適切である ・来年度よりはじまる「特別の教科 道徳」の指導についてしっかりと取組んでほしい。	・目標は適切である ・運動能力の育成とともに、防災避難訓練等も充実させ、危機回避能力の育成につなげてほしい。	・目標は適切である ・今までの関係を振り返り、改善すべきところと発展させていくべきところを精査していくことも必要では。
意見取組状況に対する	・小学校でも取組んでいる読書活動を継続してほしい。 ・テスト期間中の質問日や放課後学習・休業中の補習などは今後とも継続・拡大してほしい。	・体育大会や文化祭等の行事を通じ、学級の集団づくりや生徒のまとまりを感じることができた。 ・朝の挨拶運動は生徒の様子を観察できてよいと思う。	・新入生が学校生活に慣れた中でテストをすることは妥当な考え。 ・部活動もよく頑張っている。	・図書ボランティアの取組は来年度以降も続けてほしい。 ・学校の活動がわかるような手立て(たよりの発行など)を考えてほしい。
に取組する適切さの検証結果	・授業風景はここ数年落ち着いてきている。 ・小学校においても授業改善に取り組んでいるなか、中学校においても、「学び合いの授業づくり」の取組を進めてほしい。	・学校での道徳の授業はしっかりと取組んでほしい。あわせて、家庭における道徳のあり方も大切だと感じる。 ・挨拶の習慣がついてきていることはよいこと。	・体づくりや健康の維持は人生にとっても大切なこと。しっかりと取組んでほしい。	・学校行事に足を運ぶ人が増えてきていることは良いこと。 ・若宮ガーデンなどの取組は今後とも継続してほしい。
意見改善年度に向けた	・適切である ・小学校と中学校が連携して、地域の誤どもたちの学力向上に取り組んでほしい。	・適切である ・いじめのない学校を目指して取り組んでほしい。	・適切である ・引き続き、部活動しっかり頑張してほしい	・適切である

3 その他のご意見

・学校の部活動などの様子が見えるようなチラシ(学校のたより)などを作成してくれないか考えてほしい。